

幽門側胃切除の手術を受けられる方へ

月日(日時)	/		/	
経過(病日等)	手術前日	手術直前	手術直後	手術後1日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に必要なものの準備が整い、不安なく手術に臨むことができるようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に手術を受けることができるように準備をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが少ない状態で過ごせるようにしましょう。 安静に過ごしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが少ない状態で過ごせるようにしましょう。 歩けるようになりましょう。
点滴		<ul style="list-style-type: none"> □手術室にて点滴があります。 □2番目以降に手術の方は手術前から点滴を始めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服している薬の確認をします。 □普段通りにお飲みください □中止の薬があります。() 昼食後に下剤を飲んでいただきます。 夜間、眠れない場合には睡眠剤をお渡しします。 血をかたまりにくくする薬がないか確認させていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 内服薬について □内服はありません。 □医師の指示により(時に) をお飲みください。 	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師または看護師にご相談ください。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 身長・体重を測ります。 必要に応じて検査が入ることがあります。 			<ul style="list-style-type: none"> 検査(血液検査/尿検査/レントゲン)があります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防のために、お臍の掃除と必要な範囲の除毛をします。 		<ul style="list-style-type: none"> 足に血栓予防のためにフットポンプ(ふくらはぎのマッサージ器)が付きます。 手術室でお鼻(胃管)とお腹の管、背中への痛み止めが入ってきます。 酸素吸入を翌日朝まで行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の確認をします。 フットポンプ・酸素吸入を外します。 医師の判断で鼻の管を抜きます。
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室へは車いす、または歩いて行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝から歩行練習を始めます。最初の歩行は看護師の付き添いのもと行います。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 夕食は5分粥食とOS-1 500mlをお配りします。 午後9時より禁食です。 午前0時以降はOS-1のみ飲水可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術が午後の場合は朝8時にOS-1 500mlをお配りします。 手術開始3時間前までにOS-1をお飲みください。 	<ul style="list-style-type: none"> 禁飲食です。  	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> お臍の掃除と除毛後にシャワーを浴びてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の洗顔・歯磨き・男性の方は髭剃りをしてください。 保湿クリーム・お化粧品はしないでください。 		<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 パジャマへの着替えをお手伝いいたします。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 下剤内服後に排便がありましたら、看護師にお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、排便状況を確認します。 朝までに排便がない場合は浣腸をします。 手術に呼ばれたら、トイレを済ませてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管を介しての排尿となります。 手術後は安静のため、排便はベッド上となりますので、ナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 尿の管を介しての排尿となります。
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活について説明いたします。 手首にネームバンドを着けます。 手術の一連の流れについて説明いたします。 手術に必要な物品を確認します。 医師から手術について説明があります。 手術に関する同意書を確認します。 手術中の顔色や爪色の観察のため、化粧やマニキュアは落としてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術予定時間は()時頃です。 手術衣に着替えて、下着を全て外し準備してください。 弾性ストッキングを履いてください。 □8時までに着替えをして準備をしてください。 □()時までに着替えをして準備をしてください。 手術室へ出発するときは、時計、眼鏡、義歯、湿布、指輪、ヘアピンを外します。 手術に支障をきたす可能性があるため、入れ歯、ブラジャーなどの金属類は外してください。 長い髪の方は飾り・金属のないゴムで2つにむすんでください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室から呼び出しがありましたら看護師がお知らせしますので、それまでは病棟ラウンジで待機してください。(個室の方はお部屋で待機してください。) 	<ul style="list-style-type: none"> お腹に管、尿の管、点滴の管が入っているため動くときは引っぱられないように注意してください。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。
 ※入院期間については現時点で予測される期間です。

幽門側胃切除の手術を受けられる方へ

月日(日時)	/		/	
経過(病日等)	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術後の痛みをできるだけ少なくし、室内歩行ができるようにしましょう。 お腹の痛みや張りが少なく過ごせるようにしましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術の痛みをできるだけ少なくし、病棟内歩行、日常動作が出来るようにしましょう。 食事をゆっくりとることができるようにしましょう。 排便コントロールをしましょう。 	
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります。 			
薬	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師または看護師にご相談ください。 		<ul style="list-style-type: none"> 痛み止めの内服薬が使用できます。痛む時は我慢せずご相談ください。 中止となっていた常用薬は先生の指示がありましたら、再開します。 	
検査		<ul style="list-style-type: none"> 採血があります。 レントゲン室にてレントゲン撮影があります。 		<ul style="list-style-type: none"> 造影剤を飲んでお腹の中での通りを見る検査(透視)があります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 手術後2-3日で背中痛み止めの管が抜ける予定です。 背中痛み止めの管が抜けたら尿の管も抜きます。 			
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 室内歩行ができるようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟内歩行ができるようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 氷のみ摂取可能となります。看護師がお持ちします。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲水が開始になります。初回飲水は看護師見守りのもとで行います。 看護師が、洗髪をいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 胃切食1を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 胃切食2を提供いたします。
清潔				<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 パジャマへの着替えをお手伝いいたします。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 手術後2-3日目に背中痛み止めの管が抜けたら尿の管を抜きます。 尿の管を抜いた後、尿量測定を排尿後とに行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 尿量測定を排尿毎に行います。 	
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 点滴の管やお腹の管が入っているため、動く時はひっぱられないように注意してください。 手術後3日目に、1回目の栄養指導があります。栄養士がお部屋に伺います。 		<ul style="list-style-type: none"> お食事は時間をかけて、ゆっくり摂取してください。 食事摂取時に気持ち悪い、お腹が痛む、冷や汗が出る等の症状がありましたら、ナースコールで看護師をお呼びください。 	

幽門側胃切除の手術を受けられる方へ

月日(日時)	/	/	/	/	/
経過(病日等)	手術後6日目	手術後7日目	手術後8日目	手術後9日目	手術後10日目～
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 痛みをできるだけ少なくし、院内歩行、日常動作ができるようにしましょう。 ゆっくり食事をとるようにしましょう。 ガスや排便があるように腸を動かすようにしましょう。 			<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活について必要な知識を得ることができるようしましょう。 	
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります。 				
薬	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師または看護師にご相談ください。 				
検査		<ul style="list-style-type: none"> 採血の検査があります。 レントゲン室でレントゲン撮影があります。 			
処置	<ul style="list-style-type: none"> 手術後2-3日で背中痛み止めが抜ける予定です。 背中痛み止めが抜けたら尿の管も抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> お腹の管を抜きます。 お傷の糸を半抜糸(糸を抜く)します。 	<ul style="list-style-type: none"> お傷の糸を全抜糸します。 	<ul style="list-style-type: none"> 創部の観察をする場合があります。 	
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 				
食事	<ul style="list-style-type: none"> 胃切食3を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 胃切食4を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 胃切食5を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 胃切食6を提供いたします。 	
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 パジャマへの着替えをお手伝いいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が洗髪をいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴の管、お腹の管が抜け、抜糸が終わってしまったら、シャワー浴が可能となります。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 尿量測定を排尿毎に行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 尿量測定終了となります。 		
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> お食事はゆっくり時間をかけて摂取してください。 食事摂取時に気持ち悪い、お腹が痛い、冷や汗があるなど異変がありましたら、食事は中断し、ナースコールにてお知らせください。 		<ul style="list-style-type: none"> 退院までに2回目の栄養指導があります。栄養指導はご家族でお食事を作るかたと一緒に参加できます。日時は看護師にご相談ください。 退院時、別紙にて次回外来日について説明いたします。 		

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。